

2023年3月1日、アウアチャパン県アウアチャパン市において、草の根・人間の安全保障無償資金協力「アウアチャパン市リカルド・トリゲロス・デ・レオン初等学校整備計画」の引渡式が開催され、有吉大使の他、セペダ・アウアチャパン市長、マルケス・アウアチャパン県教育局長、カルデロン校長、児童・生徒及び地域住民が参加しました。

2023年3月

在エルサルバドル日本大使館

本計画によって、建設・改修された校舎と新しい教育施設用家具の設置により、児童・生徒564名及び教員20名が恩恵を受けることとなり、教育環境の大幅な改善が期待されます。





前は教室不足により他学年と教室を共有しなければならない状況下にありましたが、計画実施後は適切な教育環境が整い、生徒達は主体的に学習に取り組んでいます。

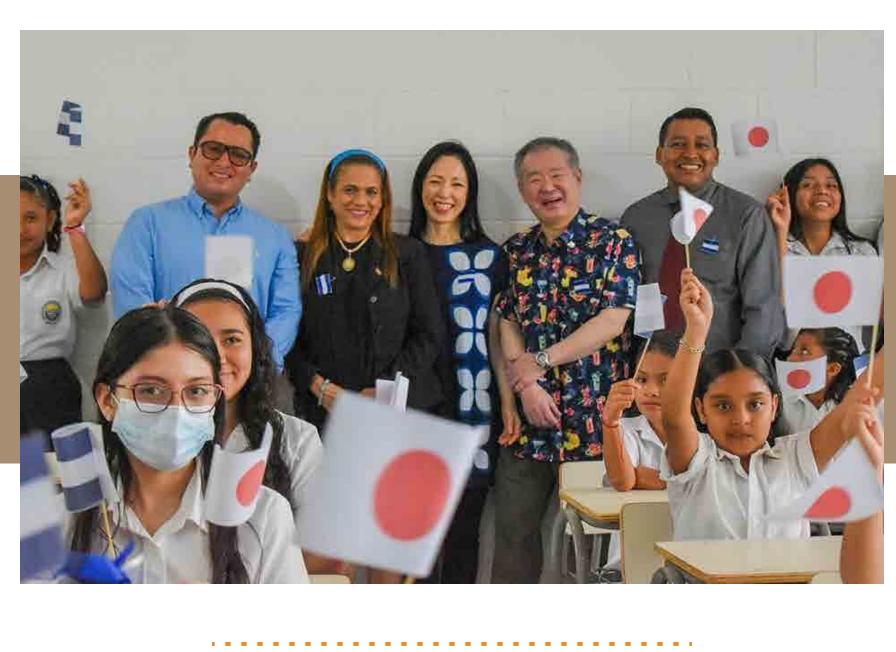


トグ・大井・照明・休百む)。

「アウアチャパン市リカルド・トリゲロス・デ・レオン初等学校整備計画」は、日本政府の行う「草の根・人間の安全保障無償資金協力(APCS)」を通じて実現された学校施設改善プロジェクトで、リカルド・トリゲロス・デ・レオン初等学校に4教室を新たに建設し、既存7教室を改修するため、153,820米ドルが供与されました。

また、アウアチャパン市役所も、同計画のために詳細設計の作成や計画看板・記念碑設置のための費用である8,500米ドルを負担しました。地域住民も、7,815米ドル相当の役務提供という形でプロジェクトに貢献し、さらに、教育省はトイレ・厨房・倉庫・境界柵・境界壁の建設及び4教室分の新たな教育施設用家具設置のため、46,500米ドルを提供しました。本計画の投資総額は216,635米ドルです。

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」は、エルサルバドルで30年以上協力を行っており、現在までエルサルバドルにおいて440件以上のプロジェクトを実施してきています。裨益者総数は160万人にのぼり、供与された資金総額は約4千万ドルになります。



「駐エルサルバドル日本国大使として、教育省やアウアチャパン市役所、教員や保護者の方々と共に「リカルド・トリゲロス・デ・レオン初等学校整備計画」の引渡式に参加できることを大変光栄に思います。エルサルバドルと日本は太平洋をはさんだ隣国であり、常に変わらない友好関係を有しています。今回、草の根無償資金協力を通じて、エルサルバドルと日本両国間の相互理解と友好親善を深めることができ大変嬉しく思います。日本は、特に教育分野を重要視していますが、なぜなら教育とは、自己成長を促すための基盤であり、人々の成長が地域社会の発展へとつながり、ひいては国家の繁栄に寄与することとなるからです。在校生の皆様、保護者の皆様には、未来の児童・生徒たちのためにも、新校舎を大切に扱っていただきたいと思います。」 **有吉勝秀**

駐エルサルバドル日本国大使

「この度、友好国日本の皆様がリカルド・トリゲロス・デ・レオン初等学校に新校舎を建設して下さった ことは、エルサルバドルにおける教育格差の解決の糸口となることでしょう。質の高い教育環境を整え て下さり深く感謝申し上げます。」

クルス・エレナ・マルケス・デ・ライネス

アウアチャパン県教育局長

「本計画により、リカルド・トリゲロス・デ・レオン初等学校の生徒さんのために素晴らしい校舎が完成しました。これは、先生方はじめ生徒や保護者の皆様の努力と教育省や市役所の支援、そして日本政

府からの多大なるご支援があって実現可能となりました。当コミュニティの未来を担う子どもたちにとって、大きな財産となるこの新校舎を建設して下さり本当にありがとうございました。」
フアン・カルロス・セペダ・マロキン

アウアチャパン市長

ミゲル・アントニオ・カルデロン・カベサ リカルド・トリゲロス・デ・レオン初等学校校長

「私たちのコミュニティのみならず、全国の学校を対象に教育へのアクセス改善に貢献してくださっている日本政府および国民の皆様に感謝申し上げます。日本は、成長と発展の模範となるべき素晴らしい国です。あらためて深くお礼申し上げます。」





Colaboración del Pueblo Japonés



